

アルゴス料金表

(1 / 2)

(政府機関・研究機関・教育機関・NGO・NPO等向け料金)

2025年4月1日から適用

1. アルゴス基本サービス

1-1. 月当り稼働送信機基本料

料金コード	項 目	単位	料金(税別, 円)
A	PTT (アルゴス送信機) 稼働月次基本料 送信機が当該月に一度でも送信した場合に課金される	PTT	3,000

1-2. 1日当り利用料金

料金コード	項 目	単位	料金(税別, 円)
B	位置・データ収集(標準) サービス 漂流ブイ・係留ブイ・中層フロート・動物追跡・トライ トンプイ20秒周期データ送信・その他を含む 下記の解説2及び3参照	PTT・日	800

1-3. 長期不使用アルゴスID番号 月次保有料

料金コード	項 目	単位	料金(税別, 円)
C 1	長期不使用アルゴスID番号 月次保有料 少なくとも2年間全く送信のないアルゴスID番号を保持している場合	PTT	600

解説:

1. アルゴス利用料計算

アルゴス利用料の計算は、基本的には下記項目の合計となります。

1-1. PTT (アルゴス送信機) 稼働月次基本料

1-2. 1日当り利用料金

例: 一つのPTTをある月に5日間利用したときの料金は、 $3,000 + 800 \times 5 = 7,000$ 円(税別)です。

その他に、ユーザが希望されたアルゴス付加サービス料が加算されます。また、ユーザが少なくとも2年間全く送信のないアルゴスID番号を保持している場合は、毎月長期不使用アルゴスID番号保有料が加算されます。

2. PTT・日の定義

ここでいう1日とは、世界標準時で0:00から24:00までで、この間に1つのPTT (アルゴス送信機) からの電波を1回でも受信すれば、1PTT・日として課金の対象となります。逆に、その1日のうちに、一度も受信のなかったPTTについては、課金の対象とはなりません。

3. 利用料金の上限

一つのPTTについて、その月の利用日数が12日を超えた日数は課金されず、12日が上限となります。そのため、月当りの料金の上限は、1PTT当り、12,600円 ($3,000$ 円 + 12 日 $\times$ 800 円) (税別) になります。

4. PTT運用の終了

システム特性上、衛星は、PTTからの電波が到達すればすべてこれを受信し、データ処理センターはこれを必ず処理します。このため、衛星が受信したPTTからの電波は、原則としてすべて課金の対象となります。したがって、運用の終了したPTTは必ずスイッチをオフにし送信を止める必要があり、原則として、送信の止まらないかぎり課金されます。

それでもなお送信を止めることが不可能で、PTT運用および課金の終了を希望される場合には、手続きについてキュービック・アイにお問い合わせください。

5. ユーザプログラムに割り当てられたID番号による送信は、PTTメーカーでのテスト発信を含め、すべてユーザに課金されます。

アルゴス料金表

(2 / 2)

(政府機関・研究機関・教育機関・NGO・NPO等向け料金)

2025年4月1日から適用

2. アルゴス付加サービス

2-1. ARGOSデータ自動配信サービス (アルゴスダイレクトサービス)

料金コード	項 目	単位	料金(税別, 円)
T 4 0	Email/ftpによる自動配信 (1Kbyte毎課金)	Kbyte	15
T 4 1	Email/ftpによる自動配信 (容量無制限)	PTT・月	4,800
T 5 0	1ヶ月分データを一括E-mail配信 (データ量が1Mbyte以下の場合)	月	30,000
T 6 0	1ヶ月分データを一括E-mail配信 (データ量が1Mbyteを超える場合)	月	48,000

2-2. ARGOS Website

	アルゴスデータ Website (1年分データオンライン)		無料
--	-------------------------------	--	----

2-3. データ処理のプロダクト・その他

料金コード	項 目	単位	料金(税別, 円)
P 3 0	アルゴスドップラー位置の高品質再処理(下記解説 6 参照)	PTT・日	150
P 4 0	測位ポイントの気象・海象データの提供 (アルゴスドップラー位置の高品質再処理を含む)	PTT・日	300

2-4. 繫留ブイ監視(MBM) サービス

料金コード	項 目	単位	料金(税別, 円)
K 9 9	繫留ブイ監視(MBM)サービス 月当り稼働送信機基本料	PTT	3,000
K 9 8	繫留ブイ監視(MBM)サービス 1日当り利用料金 (月あたり12日を超えた利用日数は課金しない。 下記解説 7 参照)	PTT・日	800

2-5. アルゴスモニターサービス

料金コード	項 目	単位	料金(税別, 円)
M 1 0	アルゴスモニターサービス追加料 (送信の有無に関わらず、1送信機ごとのサービス利用 日数に応じて課金する。下記解説 8 参照)	日	120

解説:

6. アルゴスドップラー位置の高品質再処理とは

準リアルタイムで計算された通常のアルゴスドップラー位置を後から再処理するサービスです。
ひとつの衛星通過(衛星パス)時にPTTから受信するメッセージが少ない場合に特に有効で位置の精度が向上します。
詳細についてはお問い合わせください。

7. 繫留ブイ監視(MBM) サービスとは

繫留ブイの繫留位置を監視し、流出した際にアラートをメールで送信するサービスです。
通常監視時は1日1ポジション、流出時は全ポジションをメールで配信します。
このメール配信には別途T40またはT41のEmail/ftpによる自動配信の料金がかかります。
詳細についてはお問い合わせください。

8. アルゴスモニターサービスとは

アルゴスデータに含まれるセンサーデータなどをモニターする付加サービスです。
例えば、センサーデータであれば電池の電圧レベルや温度などをモニターし、モニターの結果をメールで配信します。
このメール配信には別途T40またはT41のEmail/ftpによる自動配信の料金がかかります。
詳細についてはお問い合わせください。